

奥入瀬溪流区間の交通量 “前年度比 20%増” ～ゴールデンウィーク期間交通量～

ゴールデンウィーク期間の国道 102 号奥入瀬溪流区間の交通量は、過去 5 年間減少傾向にあり、特に平成 20 年度は近年で最も落ち込みの激しい年でした。

今年度は、ゴールデンウィーク期間総交通量で前年度比 20%増、ピーク日の交通量は 35%増を記録し、ETC 休日特別割引の影響により、交通量が大幅に増加したものと思われます。

■結果概要

1. 交通量結果

ゴールデンウィーク期間（平成 21 年 4 月 26 日（土）～5 月 10 日（日）、計 15 日間）の交通量は、過去 5 年間で最も多い結果となりました。

昨年度との比較	H20 年度	H21 年度	増加率
・総交通量	43,300 台	→ 52,300 台	20%増
・ピーク日	5,800 台/日	→ 7,800 台/日	35%増

2. 渋滞の状況

・交通量が増大した反面、主要な観光スポット（石ヶ戸、雲井の滝、銚子大滝）で終日 100～500m の渋滞が発生。

3. アンケート調査結果

・来訪者の約 8 割が県外観光客。 ・来訪者の約 6 割が高速道路を利用（ETC利用）。

○調査目的

国道 103 号青樺山バイパス整備に当たっての交通現況調査（基礎調査）

○調査日

平成 21 年 5 月 3 日（日）、5 月 5 日（火）

○調査内容

交通量調査・・・計 7 箇所 渋滞調査・・・溪流区間主要観光スポット
観光客アンケート調査・・・焼山、石ヶ戸、子ノ口、休屋

報道機関提供資料	
担当課・グループ	道路課 整備推進グループ
担当者	阿部グループマネージャー
電話番号	017-722-1111(内線 4271)
報道監	県土整備部 東次長

平成21年度ゴールデンウィーク 【 奥入瀬溪流の交通状況 速報 】



石ヶ戸付近の交通状況 (H21.5.3)

【GWの奥入瀬溪流交通状況】 交通量

■ GW期間総交通量は、今年のGW期間総交通量は、約52,000台と過去5年間で最大を記録しました。

■ ピーク日の交通量（1日当たり）も過去5年間で最大を記録しました。

※ゴールデンウィーク期間（GW期間）・・・4/25～5/10、16日間

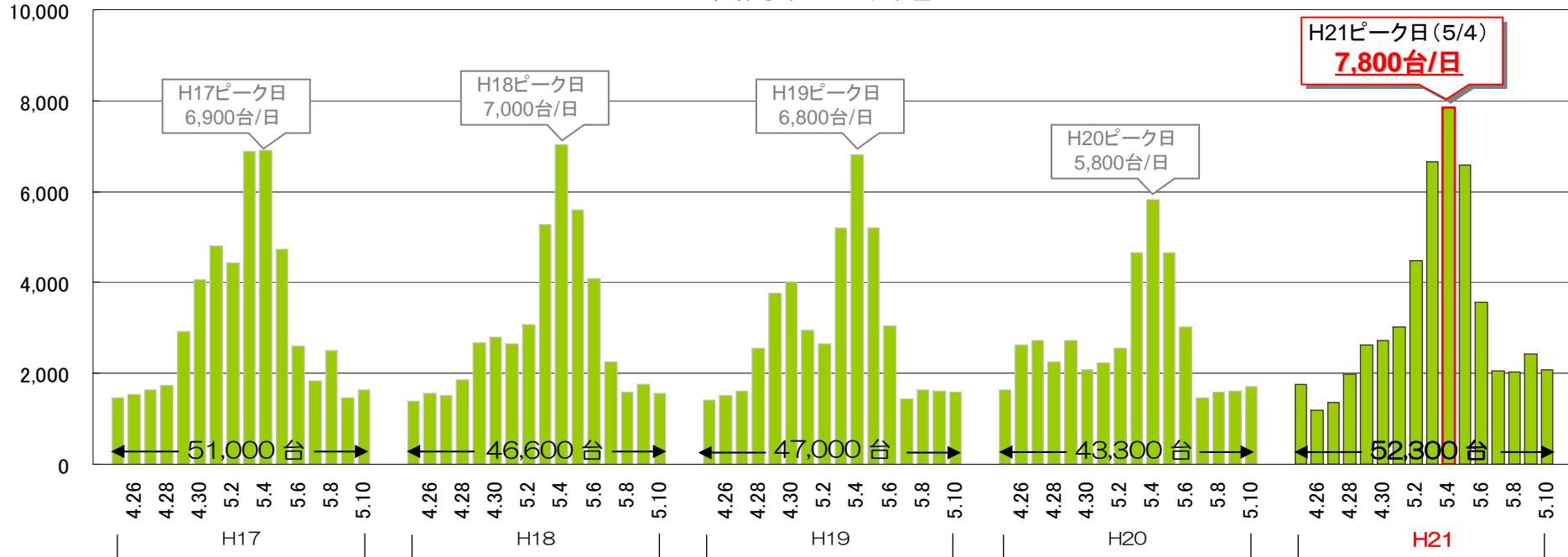
▼平成20年度との比較

	H20年度	H21年度	増加率
期間総交通量	43,300台	52,300台	約20%増
ピーク日交通量	ピーク日 5/4 5,800台/日	ピーク日 5/4 7,800台/日	約35%増



(台/日)

▼GW期間中の日交通量



【GWの奥入瀬溪流交通状況】～渋滞～

【渋滞】

- 主要観光スポット（石ヶ戸、雲井の滝、銚子大滝等）において、終日100m～400mの慢性的な渋滞が発生
 - 特に、石ヶ戸付近では、最大700mの渋滞を観測
- ※容量以上の車両流入、主要観光スポット周辺への路上駐車による影響。

【走行時間】

- 溪流区間を走行する車は終日20km/h程度のノロノロ走行
- 通常、焼山～子ノ口間（約14km）の通過時間は20分程度



GW中の通過時間は40分～最大1時間程度



【GWの奥入瀬溪流交通状況】～アンケート調査1～

調査日：5月3日（日）、5月5日（火）

調査地点：焼山（奥入瀬溪流館駐車場）、石ヶ戸、子ノ口、休屋

方法：調査員による車両運転者への聞き取り

回答数：2,460件

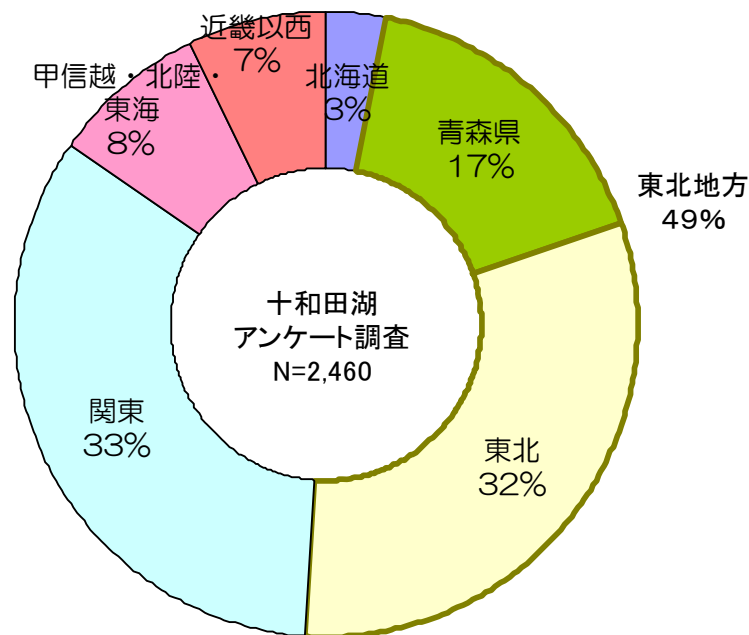
休屋でのアンケート風景（H21.5.5）



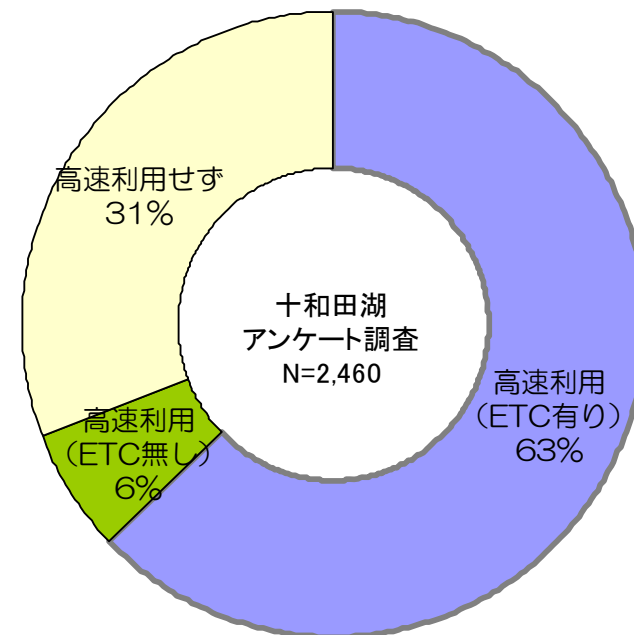
【来訪者の出発地と高速利用の有無】

- 来訪者のうち、県外客が約8割。
また、関東以西の遠方来訪者が5割を占める。
- 来訪者の約6割が高速道路（ETC有り）を利用している。

▼ 十和田湖来訪者の出発地



▼ 十和田湖来訪者 高速利用の有無

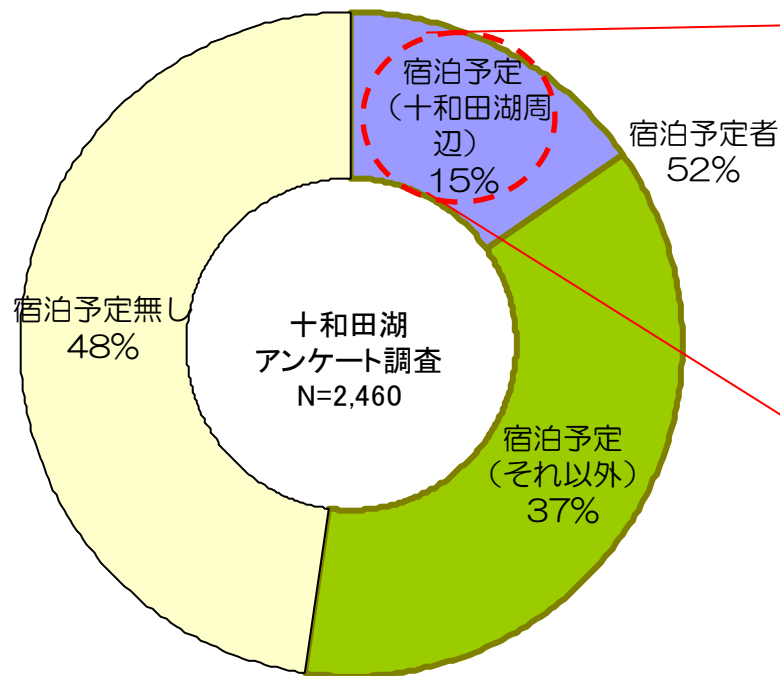


【GWの奥入瀬溪流交通状況】～アンケート調査2～

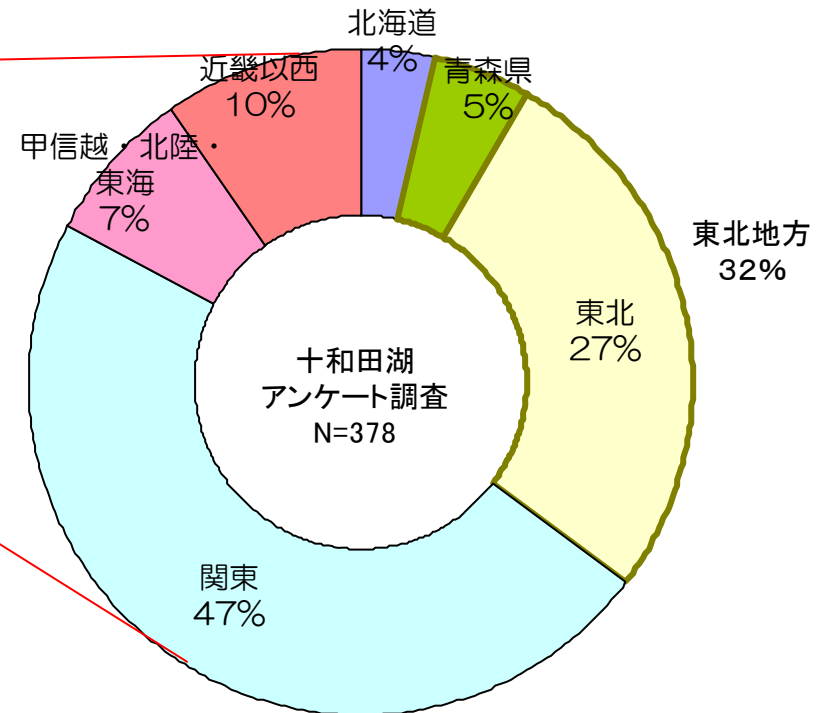
【来訪者の宿泊状況】

- 十和田湖来訪者のうち、宿泊予定者は約半数。（十和田湖周辺宿泊予定者は15%）
- 十和田湖周辺宿泊予定者のうち、約半数は関東からの来訪者。

▼ 十和田湖来訪者の宿泊状況



▼ 十和田湖周辺宿泊者の内訳



まとめ

■交通量増加

- ・過去5年間、減少傾向を示していた交通量が増加
- ・特に、近年最も落ち込みが激しかった平成20年度と比較して大幅な増加。
→高速道路のETC休日特別割引の影響が大きいものと推定されます。

■自然環境保全と観光振興の両立

- ・行楽時期の交通量増大は、観光客の増加につながり、観光分野での恩恵は大きいものの、国立公園である奥入瀬溪流の探勝や、自然環境保全面との両立が課題。
→毎年秋のマイカー交通規制と、マイカー交通規制本格実施の前提となる青樺山バイパスの整備を通じて、関係機関と議論を深めていきます。